

つなごう! Re:Think インフラプロジェクト 新潟の未来!

ぼくの体験記は
Webで見てください!



ナビゲーター
いっすねー! 山脇

「よしもと新潟県住みます芸人」として2017年に新潟に移住。TV番組のレポーターを中心に活動。福岡県出身。Re:thinkインフラプロジェクトのナビゲーターとして県内のさまざまなインフラを見学。

「前を向く宮島さんの姿がまぶしかった」。ナビゲーターの山脇さんが、人と現場をWebで詳しく伝えます。

「安心感を持って仕事に当たってもらい、一つの現場を無事に完結できるようにしたい」と夢を静かに語ってくれました。

「前を向く宮島さんの姿がまぶしかった」。ナビゲーターの山脇さんが、人と現場をWebで詳しく伝えます。

今回の現場は住宅街に隣接していることから、住民への配慮も欠かせません。例えば、砂が飛ばないように塀を設け、さらに騒音と振動を測って基準値を超えないように注意を払います。

地域住民と協力会社と コミュニケーションを大切に

工事看板脇では、騒音と振動の数値をリアルタイムでデジタル表示。「情報発信は、地域の方々に安心感を与えるコミュニケーションの一つ。現場でもコミュニケーションは大事で、初対面の場合もある協力会社の方々とどう接するかで、現場の雰囲気も仕事の進み具合も全然変わってきます」「人見知り」と称する宮島さんの目標は現場監督。「安心感を持って仕事に当たってもらい、一つの現場を無事に完結できるようにしたい」と夢を静かに語ってくれました。

越後平野の田んぼを潤す 「揚水機場」を建設



新潟市西蒲区巻地区。田んぼに水を送るための揚水機場の建設現場で、水倉組の宮島健太さん(23)は先輩と組んで測量を行います。入社して4年目。これまでは河川の護岸工事や橋脚、水原バイパス沿いの水路などを経験してきました。「土木と一口に言っても仕事の範囲は広く、時には橋脚など部分的に担当することもある。当初は言われたこと、目の前のことをやるのが精一杯でした。今では、先々のことや全体を考えて作業を進めたり、協力会社の人たちに指示を出したり「現場を第三者の目で見られるようになった」と自身の成長を感じているそうです。



第4回 | 地域と心通わせて

私たちは「Re:Think インフラプロジェクト つなごう!新潟の未来!」を応援します



株式会社曙建設 エヌシーイー株式会社 開発技建株式会社 株式会社笠原建設 株式会社キタック 一般社団法人建設コンサルタンツ協会北陸支部 株式会社中元組 特定非営利活動法人にいがた地域創造センター
西田建設株式会社 藤木鉄工株式会社 一般社団法人北陸地域づくり協会 株式会社水倉組